

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成27年12月24日

協議会名:函館市生活交通協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③地域公共交通網形成計画等の 計画策定に向けた方針
【事業内容】 ・ 地域公共交通再編に関する調査 ・ 交通拠点整備に関する調査 ・ 調査の取りまとめ 【結果概要】 ・ バス路線網の個別運行経路や運行水準のほか、交番数や車両台数などの経営的指標も含めた需要予測を行った。 ・ 五稜郭, 美原, 湯の川の3カ所の交通拠点整備に向け、整備が予定される場所の現状について詳細に調査した。 ・ 関係者との打合せ資料をとりまとめ、バス路線網の再編や交通拠点の整備に向けた協議を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	・ 将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を目標に、ゾーンバスシステムを中心とするバス路線網の再編案を策定する。 ・ 五稜郭, 美原, 湯の川の3カ所の交通拠点について、基本設計を行う。 ・ 今年度中に再編事業について検討を行い、協議会や関係者との協議を経て、平成28年度に函館市で再編実施計画を策定する。



概要

市電・路線バス・JR・タクシーといった、本市の公共交通を将来にわたって持続可能なものとするため、現在、当協議会において今後の公共交通のあり方について検討を行っており、平成25年度に策定した検討報告書をもとに、平成26年5月に本市で地域交通総合連携計画を策定した。

また、平成26年度には、連携計画の各種事業について具体的な検討を行い、本協議会で生活交通ネットワーク計画を策定した。

このネットワーク計画や本年11月に本市が策定した地域公共交通網形成計画をもとに、地域公共交通の再編を具体化するため、路線再編の実施計画や交通拠点の整備計画に関する調査等を行い、地域公共交通再編実施計画の策定につなげる。

○地域公共交通の現況

- ・函館バス(株)(市内59系統、郊外19系統)
- ・函館市企業局交通部(2系統)
- ・JR函館本線、津軽海峡線(函館駅、五稜郭駅、桔梗駅)
- ・スクールバス(6小学校、2中学校)

○地域公共交通の課題

【バス路線網について】

- ・わかりづらいバス路線網となっている
- ・同一名称のバス停が複数存在している
- ・他の交通機関との連携が不十分である
- ・地区特性に応じた運行形態への見直しが必要である

【利用環境・走行環境について】

- ・待合環境の整備が不十分である
- ・乗継ぎ環境の整備が不十分である
- ・利用環境の整備が必要である
- ・ニーズに合ったダイヤ設定がされていない
- ・料金に対する不満がある
- ・路線バスの定時性が確保されていない

【利用状況について】

- ・公共交通利用者は年々減少している
- ・市民の生活は自家用車に依存している

○調査の主な内容

- ・地域交通再編に関する調査
需要予測や経営効率などのシミュレーション等
- ・交通拠点整備に関する調査
詳細調査および交通拠点の基本設計等
- ・調査の取りまとめ
関係者協議に向けた資料作成等

○協議会開催状況(平成27年度) 協議会3回, WG3回

- ・平成27年5月21日 平成27年度第1回協議会
平成27年度事業内容について
- ・平成27年8月31日 平成27年度第2回協議会
函館市地域公共交通網形成計画の策定について
函館市地域公共交通再編調査事業について
- ・平成27年12月24日 平成27年度第3回協議会
函館市地域公共交通再編調査事業について

函館市生活交通協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

- ・ 地域公共交通再編に関する調査
- ・ 交通拠点整備に関する調査
- ・ 調査の取りまとめ

●事業実施の適切性

A 計画通り事業は適切に実施された。

●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

- ・ 将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を目標に、ゾーンバスシステムを中心とするバス路線網の再編案を策定する。
- ・ 五稜郭, 美原, 湯の川の3力所の交通拠点について, 基本設計を行う。
- ・ 今年度中に地域公共交通網再編実施事業について検討を行い, 協議会や関係者との協議を経て, 平成28年度に函館市で再編実施計画を策定する。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄

■市街地におけるゾーンバスシステムを中心とした再編路線のイメージ

